

ペガサス・40周年に寄せて

元現役サッカー部顧問 鈴木 中

私の個人記録と併せて、ペガサスの歴史を眺めてみると私の40歳台の頃、当時の若手OBが中心となってスタートしたと考えられる。多分岩淵、宮原、先生にお世話になった。

関東大会で準優勝した、中原さん以前の方が元気だった頃だと想像できる。私が現役を指導していた頃の記録から見ると50回生、六角、沢田君の頃だと思われる。40年前私も校内で一番忙しい時期であった。部活、クラス主任、生徒指導部長、等々で多忙を極めOBと一緒にボールを蹴る余裕はなかった頃だったと思う…

只いつも感じていたことはOB会は〇は出すが口は出さないと言う事が徹底していたのは本当に部活指導の上ではありがたかった。ガンさんの力だったと感謝している。ガンさんの影響で、自分たちの楽しむサッカーで決して私の指導に、〇は出すけれど、口は出さなかった。他の学校では見られないOBが独立した集まりで、現役にとっては、特に指導者にとってはありがたい組織であった。

さて今や高校サッカーはプロの予備軍の時代である。何れ変化してゆくと思うが“湘南”がこれからどう生きて行くか、試練の時である。埼玉県浦和高校も、静岡の藤枝東高校、もOB達が心配している。私も老いて来た、湘南高校サッカーも、何か生きて行く道はあると思うが？…

そして今やサッカーは芝生の上でやるスポーツになった。湘南100年、ペガサス40年、記念としてグラウンドを人工芝にしては如何かな・・・声を大にして言いたい・・・

そして“ペガサス”のますますの発展を祈ります。・・・鈴木中